

マテリアリティ

マテリアリティ

強固なビジネス基盤の構築



- 適切な財務マネジメント
- 新領域の開拓による事業ポートフォリオの最適化

顧客との強い信頼関係の維持・構築



- 「はかる」ことへの真摯な対応
- 顧客のニーズの的確な把握
- グローバル顧客との直接的な対応
- 最新技術に適応したソリューションの提供

先端技術の獲得と活用



- 事業ポートフォリオの最適化に寄与する新規領域への活用
- 社会課題を解決できる商品サービスの開発
- 次世代技術(6G、NEMSなど)

多様な人財



- 新しい発想、イノベーションの創出
- 幅広い優れた人的能力の獲得
- 人種、性別、年齢等にとらわれない人財の活用

グローバルな組織体制の構築



会社の対応

- 4つの新領域に対し、成長への投資の強化
- 4つのカンパニーと1つの研究所体制を構築
- 環境計測事業部門を立上げ
- 他社とのアライアンスの強化
- 最適資本構成による事業の運営
- M&Aによる成長機会の獲得

- 顧客のニーズに応えるソリューションの開発
- 顧客サポート体制の構築および強化
- 業界団体(特に規格制定団体)の活動への参画
- 最先端の技術を牽引する顧客との信頼関係を築ける人財の確保・維持

- 先端技術研究所の設立
- オープンイノベーション(VC)の活用
- 技術獲得のためのM&Aおよびアライアンスの推進
- 組織的活動による最新技術の獲得
- キーデバイスの内製化
- 最先端の技術をキャッチアップできる人財の確保・維持

- グローバル(フィリピンなど)での採用の実施
- 価値観の多様性に対応した労働環境の整備
- 従業員の自発的成長を支援する教育研修体系の整備
- 各自の能力が発揮できる働きやすい職場環境の整備

- 多様な人財が活躍できる組織と人事体制の構築
- グローバルな研究開発体制の構築
- 海外子会社における内部統制の充実

環境配慮型ソリューションの開発



- 環境貢献型の製品サービス

- 温室効果ガス削減に向けたソリューション開発(省電力に向けたソリューション開発)
- 環境負荷の少ない部品の使用

環境・社会に配慮した生産体制



- 温室効果ガス削減を目指した企業ファシリティ
- 安全性に配慮した生産現場

| 資本・ステークホルダー | ステークホルダーのニーズ | KPI |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：財務、知的、人的 ステークホルダー：株主・投資家、従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 会社の成長 適正な株主還元 働きがい 賃金アップ | <ul style="list-style-type: none"> 格付 売上・営業利益 TSR |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：知的、人的、社会・関係 ステークホルダー：顧客、従業員 | <ul style="list-style-type: none"> オンタイムでのソリューションの提供 オンタイムでのサポートの提供 最先端技術への取組 外部団体への参画 高精度で安定した測定結果 | <ul style="list-style-type: none"> 新製品数 サポート拠点数 顧客満足度 団体への参加と貢献 |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：知的、人的 ステークホルダー：従業員・協力会社 | <ul style="list-style-type: none"> 最先端技術への取組 他社との協業によるイノベーション | <ul style="list-style-type: none"> R&D投資額 |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：人的 ステークホルダー：従業員・協力会社 | <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境 スキルアップ | <ul style="list-style-type: none"> 地域別人員数、女性比率、女性幹部職比率 障がい者雇用率、エンジニア比率(新卒採用) 有給休暇取得率、離職率 1人当たりの研修費 くるみんマーク取得星数、ホワイト企業認定など |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：人的 ステークホルダー：従業員・協力会社 | <ul style="list-style-type: none"> グローバルな労働環境 | <ul style="list-style-type: none"> グローバルな人事制度 グローバルな人材採用 グローバルな研究開発拠点数 |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：人的、社会関係 ステークホルダー：顧客、従業員、サプライヤ | <ul style="list-style-type: none"> オンタイムでのソリューションの提供 CO₂排出量削減 | <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス削減量(Scope3) 環境配慮型の新製品数 |
| <ul style="list-style-type: none"> 資本：財務、人的、製造 ステークホルダー：地球環境、地域社会、従業員、サプライヤ | <ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な工場 地域社会の経済活性化 CO₂排出量削減 | <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス削減量(Scope1,2,3) 太陽光電力発電量/消費量、自家発電比率 設備投資額 労働災害関連数値 |